



報道関係各位

2015年6月22日  
アシストマイクロ株式会社

## BP Logix 社が、米ガートナー社のインテリジェントビジネスプロセスマネジメント(iBPMS) のマジック・クアドラント(MQ)2015 で iBPMS ベンダーに認定

海外ソフトウェアの販売代理を行うアシストマイクロ株式会社(代表取締役社長:百瀬 太郎、本社:東京都中野区、以下アシストマイクロ)は、日本総販売代理店として取り扱いを行なっている BPM ソフトウェア「BP Director」(ビーピーディレクター、米国名:Process Director\*)の開発元である米 BP Logix Inc. (以下 BP Logix 社)が、2015 年 3 月 18 日、米ガートナー社のインテリジェントビジネスプロセスマネジメントスイート(iBPMS\*\*)のマジック・クアドラント(Magic Quadrant、以下 MQ)2015 で iBPMS ベンダーに認定されたことを発表いたします。

ガートナー社の報告書では、iBPMS 市場はこれまでの BPMS 市場からより大規模なシステムへの対応やビジネスプロセスで発生する各種情報の収集などが要件として加わり、日々進化していると伝えていきます。プロセスのシミュレーションや最適化、パフォーマンスの測定などの機能は、数年前から多くの BPMS 製品に含まれていました。iBPMS では業務コラボレーションのサポート、ソーシャルメディアとの統合、モバイル端末でのアクセス、幅広い範囲での分析、リアルタイムな意思決定などが新たに追加実装されました。つまり、iBPMS は典型的なプロセスの効率化やパフォーマンス測定の域をはるかに超えて、ビジネスの成果を創出する形へ組織化されています。

2015年版のMQにおいて、ガートナー社はますます複雑化するワークスタイルを実現する性能に基づいて、様々なプラットフォームを評価しました。リサーチ部隊は、内容に関する深い洞察力が必要とされ、スピードを増す現在のペースで実行でき、仮想と実際の垣根を越えて、重要性の高い、特に電子化されたプロセスの内容に幅広く対応できるかどうか注目しています。

また同報告書では、iBPMS のプラットフォームはデータマネジメントと分析、可動性、ソーシャルコラボレーションそしてクラウドコンピューティングを備えた現代のテクノロジーの統合により、多様に変化する企業の BPM に対する価値を拡張すると報告しています。これらの機能は、最善に近い決定や、顧客のニーズ、市場の挑戦や機会の変化に答えるため、組織の迅速な対応意識、知識、そして行動から導き出される意思決定のサイクルを加速させます。iBPMS は典型的なプロセスの効率化やパフォーマンス測定の域をはるかに超えて、ビジネスの成果を創出する形へ組織化されています。

ガートナーは、“BP Logix Process Timeline テクノロジーは、プロセスオーナーに各プロセスインスタンスの動作でカギとなる洞察力を提供します。どの時点でも、今後発生すると考えられるタスクまたはプロセス全体の中での遅延の危険を定義し、Process Director が動作を決定することも、プロセスオーナーが手動で停止することも可能です。プロセスタイムラインは利用しやすく、柔軟です。タスクでは直接ルールを利用することやプロセスを認識し、動的に紐づけることが可能です。タスクは必要な時点で、臨機応変に、即座に、かつ簡単にプロセスに追加することが可能です。

さらに、BP Logix 社の順応性の高い BPM クラウドは、シングル、マルチ両方のテナント型で実装でき、マルチテナントではアプリケーションの開始に必要な最小限の機能を提供しています。シングルテナントではより厳密な管理を必要としている企業で要求される機能を提供しています。”と伝えていきます。

BP Logix 社の CEO である Jay O'Brien は次のように回答しています。“ガートナーによる top 15 iBPMS のベンダーに選出され光栄に感じております。Process Director は iBPMS のケースで利用されるすべての機能、主に次の 4 つの主なケースを実装する手段を提供しています。1 つは、インテリジェンスプロセス志向のアプリケーション構成であり、2 つ目は CPI、3 つ目にビジネスの変革、そして 4 つ目

## NEWS RELEASE

に電子化されたプロセスです。タイムラインでは、顧客の組織を変革し、ガートナーが指摘するビジネスの応答性をサポートします。”

最後に、ガートナーは次のように伝えています。“iBPMS が期間の短いトランザクションシステム志向のプロセスを調整することができることで、人やシステムだけでなく機能の垣根を越えた長い期間のビジネスプロセスの管理に適しています。思考に関する性能に並び、使いやすさと解決までの時間のバランスを保ったソリューションが成功を導きます。”

アシストマイクロは、iBPMS ベンダーとして認定を受けた BP Logix 社とともに、今後も日本市場へ BP Director を展開していくことで、お客様が求めるビジネスプロセスの管理に幅広く対応し、迅速かつ正確な意志決定の実現をサポートしてまいります。



### About Gartner's iBPMS Magic Quadrant

ガートナーのマジック・クアドラントは、特定の市場におけるリサーチの集大成であり、市場内で競合するベンダーの相対的な位置付けを広い視野から提示します。(ガートナー社公式 HP より)

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

## NEWS RELEASE

\* BP Logix 社の Process Director は日本市場では BP Director として販売しています。

\*\* iBPMS(Intelligent Business Process Management Suites)

…従来の定型業務のモデリングや実行管理にとどまらず、非定型業務への対応や業務ソフト、ソーシャルメディアとの連携、様々なアクセス方法などが包括実装された BPM 製品の総称。

### <アシストマイクロ会社概要>

社名 : アシストマイクロ株式会社  
代表者 : 代表取締役社長 百瀬 太郎  
本社所在地 : 東京都中野区本町 3-31-11 YUWA ビル 7F  
URL : <http://www.assistmicro.co.jp/>  
設立 : 1976 年  
事業内容 :

- 海外ソフトウェアプロダクトの販売・サポート
- 文書管理製品の開発・販売・運用・サポート
- 文書管理関連サービスの提供(各種媒体の電子化業務)

アシストマイクロ株式会社は、“世界の革新的なソフトウェアを日本レベルの品質でお客様にお届けする”ことを企業ミッションとし、海外ソフトウェアのディストリビューション(販売代理)を中心に、自社システム開発、コンテンツ電子化という 3 つの事業を展開し、お客様の経営課題にフォーカスした業務改善の IT 支援を提供しています。

### <BP Logix Inc.会社概要>

社名 : BP Logix Inc.  
代表者 : CEO Jay O'Brien  
本社 : 410 S. Melrose Drive Suite 100 Vista, CA 92081 USA  
URL : <http://www.bplogix.com/>  
設立 : 1995 年  
事業内容 : Process Director の発売を機に先進的 BPM 製品ベンダーとしての地位を確立し、ヨーロッパ、日本への販路を拡大し更なる成長を目指しています。

本リリースに記載された会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

以上

### プレスリリースに関するお問い合わせ先

アシストマイクロ株式会社  
〒164-0012 東京都中野区本町 3-31-11 YUWA ビル 7F  
BP Logix Japan Project  
TEL : 03-5302-2981 E-Mail : [bpl\\_info@assistmicro.co.jp](mailto:bpl_info@assistmicro.co.jp)

BP Logix 製品ホームページ  
<http://www.bplogix.jp/>